

ブリヂストンの過去と未来

使命

最高の品質で社会に貢献

1931年、福岡県久留米市で創業したブリヂストンは、不断の努力とM&Aを含む戦略によって、タイヤ・ゴム事業、そしてソリューション事業を展開するグローバル企業に成長してきました。1968年に社は「最高の品質で社会に貢献」を制定。社はに込められた創業者の思いは企業理念の使命として現在でも受け継がれています。2011年に世界中の従業員一人ひとりが共通の価値観に基づき行動できるように、企業理念をリファイン。その後「安全宣言」「品質宣言」「環境宣言」を整備しました。2017年にはグローバルCSR体系「Our Way to Serve」を策定し、事業を推進するための指針となっています。

1931 -

BRIDGESTONE 1.0

創業

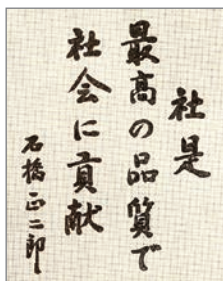
タイヤ・ゴム事業

マネジメント

創業者によるカリスマ経営

コーポレートフィロソフィー

現在も受け継がれるブリヂストンのDNA



社は
(1968)



デミング賞受賞
(1968)

1988 -

BRIDGESTONE 2.0

グローバルカンパニー

タイヤ・ゴム事業×タイヤセントリックソリューション事業

マネジメント

グローバルマネジメントチームによる経営
グローバル経営執行会議体(Global EXCO)設置(2013)

コーポレートフィロソフィー

時代の変化とビジネスへの期待に応じて進化



企業理念
リファイン
(2011)

安全宣言
(2012)

品質宣言
(2015)

環境宣言
(2011)

Our Way to Serve

(2017)

ビジネス

グローバル化
ソリューション事業の開始～Bridgestone 3.0に向けた準備

Firestone

買収(1988)

bandag

買収(2007)

webfleet solutions

買収(2019)

ビジョン

2050年、サステナブルな ソリューションカンパニーとして、 社会価値・顧客価値を持続的に 提供している会社へ

ブリヂストングループは、2031年の創業100周年をマイルストーンとして、2050年、そしてその先の未来においても、社会価値、顧客価値を持続的に提供していくため、「最高の品質で社会に貢献」を不変の使命として掲げ、将来に向けたビジョンをもって経営を進めていきます。

2020 -

BRIDGESTONE 3.0

サステナブルなソリューションカンパニーへ

タイヤ・ゴム事業×タイヤセントリックソリューション事業×モビリティソリューション事業

新たなチャプター

2050年とその先に向けたブリヂストンの新たな価値創造の始まり

サステナビリティ

経営の中核に

Bridgestone T&DPaaSのグローバル展開

ブリヂストングループは、独自のソリューションビジネスのプラットフォーム「Bridgestone T&DPaaS」を推進し、社会やお客様の困りごとを解決するソリューションを提供します。独自のサステナブルなビジネスモデルを構築し、タイヤ・ゴム事業の強みを活かしてソリューション事業へと進化していく、新たな成長戦略を推進します。

こうしてブリヂストングループは、2050年に向けて、サステナブルなソリューションカンパニーとして、社会価値・顧客価値を提供し続けていきます。

